

教科名 (科目名)	芸術 書道Ⅱ	履修学年	2 年	学科	普通 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①書の表現の方法や形式、多様性などについて深く考え理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、表現効果を生かして効果的に表現するための技能を身に付けることができる。

②書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的・効果的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を深く考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができる。

③主体的に粘り強く書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を深く考え創造していく態度を養うことができる。(その他：振り返る、見直す、調整)

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	書の表現の方法や形式、多様性などについて深く考え理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、表現効果を生かして効果的に表現するための技能を身に付けることができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的・効果的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を深く考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができる。	主体的に粘り強く書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を深く考え創造していく態度を養うことができる。(その他：振り返る、見直す、調整)
評価方法	○学習プリント ○小テスト ○成果物(作品)	○学習プリント ○対話的活動 ○成果物(作品)	○学習プリント ○対話的活動等

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	
		BBC (ACC)	3
C	39~0	BCC	
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書 書Ⅱ (光村図書) 参考作品 動画教材
学習プリント

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書と参考作品・動画教材を使って学習を進めます。
○各題材の始めに授業計画プリント、終わりにルーブリックを配布し振り返りを行います。
○表現領域では、技術習得と表現の工夫とのバランスを図りながら学習します。
○鑑賞領域については表現領域とのバランスを図りながら随時学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	オリエンテーション			
	5月	①篆書・隸書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	6月	①創作・発表 ②草書・行書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	7月	②創作・発表 硬筆検定資格試験			
2 学期	8月				
	9月	③楷書の学習	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	10月	③創作・発表	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	11月	④仮名の書の学習 ④創作・発表	学習プリント 小テスト 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	12月	⑤展覧会向け作品制作	学習プリント 成果物	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント
3 学期	1月	⑥篆刻の学習	学習プリント 小テスト 成果物（印影）	学習プリント 対話的活動 成果物（印影）	学習プリント 対話的活動等
	2月	⑦漢字仮名交じりの書 歌詞や好きな言葉等の自由表現	学習プリント 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動 成果物（作品）	学習プリント 対話的活動等
	3月				